

リビング

家族で多くの時間を過ごすリビングで転倒、衝突、誤飲、熱傷などあらゆる事故が発生しています。ソファやベッド、電気製品やさまざまなコード、タバコやライターなど、大人にとっては快適な空間が、子どもにとっては予想外の事故がおこる危険な空間になっています。

よくおこる事故の種類

転倒 転落

体に対して頭の大きな赤ちゃん。脚の発達が充分ではなくバランスが悪く、転倒転落の事故がおこりやすい状態です。

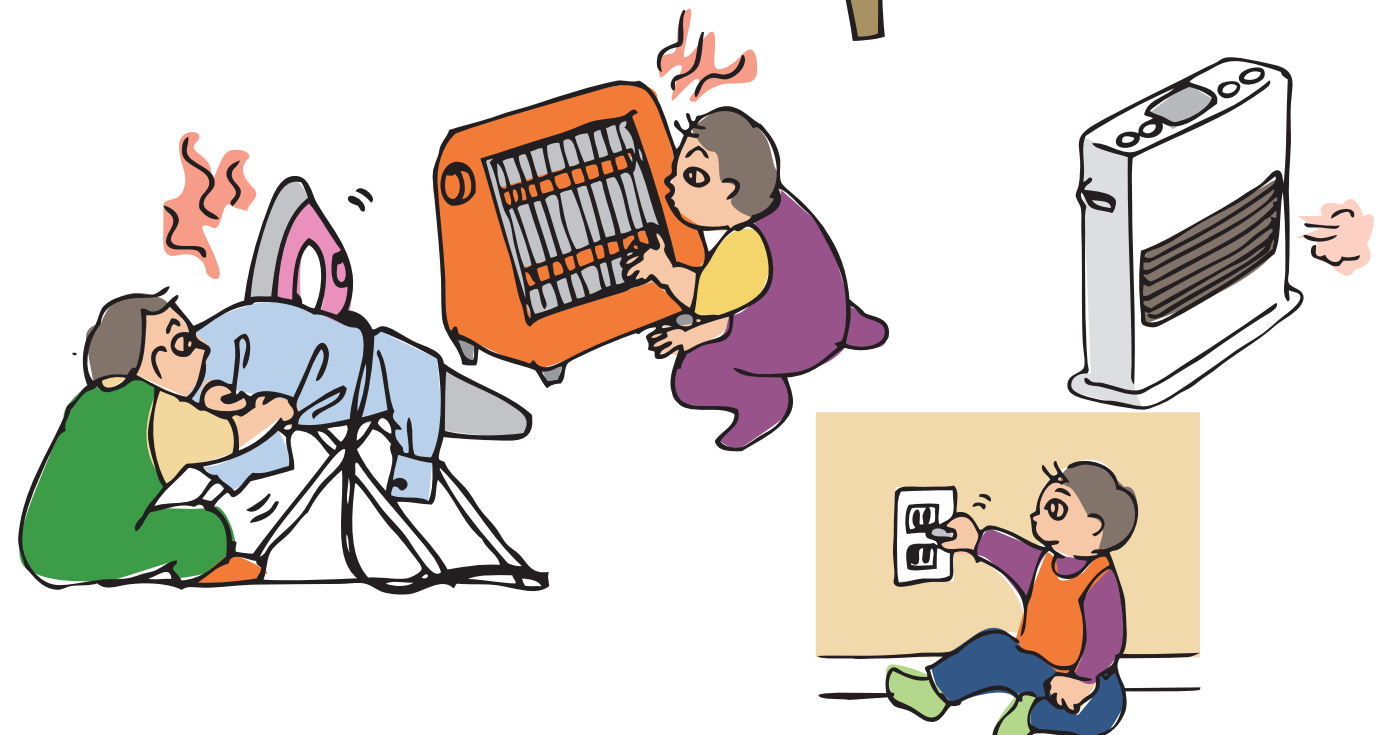
また、お母さんやお父さんが赤ちゃんを抱いて移動する時など、足もとが見えにくく、足をとられて転倒するケースも少なくありません。



熱傷

キッチンと並んでやけどが多いのがリビングです。最近は、大人にとって便利な電化製品がたくさん置かれています。ポットをはじめアイロンや加湿器、卓上に置かれた熱いお茶・ストーブなどでやけどの事故が発生しています。

ホットカーペットやこたつでも長い間寝かせていた場合、低温やけどや脱水症状をおこします。



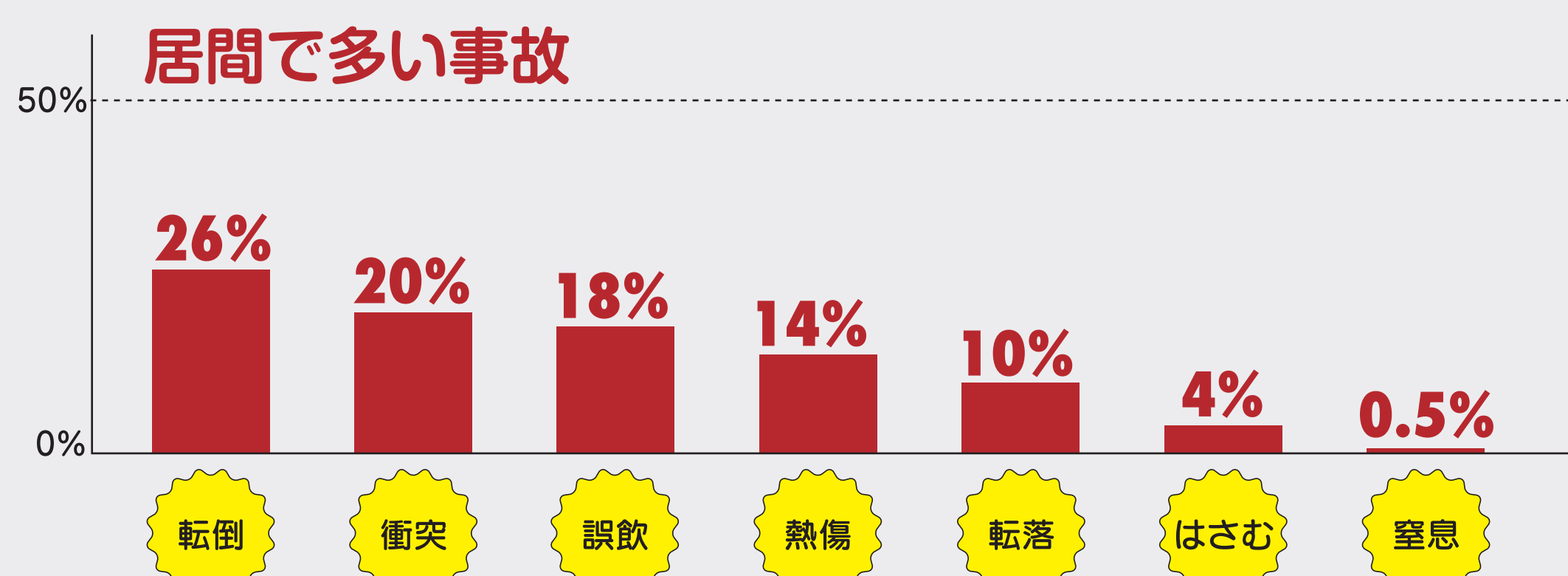
誤飲

みんながくつろぐリビングには様々な日用品が置かれています。誤飲は好奇心旺盛な乳幼児が手にしたタバコや灰皿の吸殻、電池、化粧品、薬、おもちゃなどを口に入れたり飲み込んでしまうことでおこります。



窒息

つい片づけ忘れたビニール袋。なんでも遊び道具にしてしまう子どもはビニール袋をかぶって遊んでいるうちに口でビニール袋を吸い込んで呼吸困難になったり、暴れて取れなくなったり…。寝ている赤ちゃんの口元に置いたビニール袋が口をふさいでしまう事故もあります。長くのびた電気のコードでも体に巻き付けて遊んでいるうちにのどを締め付け窒息事故がおこっています。



田中 哲郎 わが国の乳幼児事故(1999より)

事故を防ぐ工夫

家具や電化製品、家族みんなが使う日用品・・・の、整理や点検をする。

家族がくつろいだ時間を過ごすリビング。そこは「安全な空間のはずだ!」といった思い込みから、子ども目線での整理や点検がおろそかになっていませんか?

家具

- テーブルやタンスなどの位置は大丈夫?
- コーナーガードなどを貼り付けるのも、工夫の一つ。

電化製品

- 扇風機やファンヒーターの置き場所は大丈夫?
- 長すぎるコードをまとめて置く。

長いコードは転倒や窒息事故につながります。電気コードはまとめて置いたり、部屋の隅にはわせて留めたりして、子どもの目につかないようにしましょう。

家族みんなが使う小さな日用品

- つい置いたままにしていませんか?

使っていたペン、はずしたアクセサリー、食べこぼしたピーナツ、入れ替えた電池、小銭・・・を整理して片付けましょう。

